

入院診療計画書＊大腿骨転子部骨折＊

ID：〇

氏名：〇

病棟

号室

入院日： 入院日

病名・症状： 大腿骨転子部骨折

入院目的： 術式

推定される入院期間： 約 日

	入院～術前日 /～/	《手術日》 /		術後1日目 /
		術前	術後	
安静度	・特に制限はありません。		・ベッド上安静です。 	・リハビリに応じて動いていきます。 ・医師の指示により、足に体重がかけられない場合があります。
食事	・手術前日は21時より絶飲食です。	・絶飲食です。	・医師の指示で食事開始します。 (看護師より指示があるまでは食べたり飲んだりしないで下さい)	
点滴		・朝6時から点滴を開始します。 ・手術30分前より抗生剤と胃薬の投与をします。		・術後1日目まで抗生剤を投与します。
内服	・いつも飲まれている薬は医師の確認が必要となるためお預かりします。 ・入院後薬剤師より面談があります。 	・医師の指示分を内服します。 ・看護師が朝内服持ってきます。	・医師の指示で内服を再開します。	・血栓予防の内服が始まる場合があります。
処置			・術後頻回に検温を行います。 ・心電図モニターや酸素マスクを装着します。 ・血栓予防の機械を足につけます。	・午前中に医師が処置に来られます。 ・医師の指示で心電図モニターを終了します。
検査				・採血、レントゲン、CT、下肢エコーの検査があります。
排泄	・制限はありません。 ・排便がない時は必要に応じて下剤を使用します。	・30分前に排泄をお願いします。 	・術後は尿の管が入るためトイレには行けません。	・リハビリの状況に応じて尿管が抜けるか判断します。(4～5日様子を見ながら判断します)
清潔	・手術前日まで入浴可能です。	・入浴できません。		・看護師が体拭きのお手伝いをします。
リハビリ	・術前からリハビリを開始します。	・術当日のリハビリはありません。		・術後のリハビリを開始します。 ・痛みに応じて歩行訓練を開始します。 ・医師の指示により、足に体重がかけられない場合があります。

主治医

特別な栄養管理の必要性 ☒ 有 ☐ 無

栄養士

担当看護師

リハビリ担当

薬剤師

	術後2日目 /	術後3日目 /	術後4日目 /	術後7日目 /	術後 10~14日目 /~/
安静度					
食事					
点滴		・ 食事が入っていれば点滴終了します。			
内服					
処置	・ 創部の状態に応じて医師が処置をされます。				・ 14日目に抜糸をします。
検査			・ 下肢エコーの検査があります。	・ 採血、レントゲン、下肢エコーの検査があります。	・ レントゲン、下肢エコーの検査があります。
排泄					
清潔		・ 創部の状態が問題なければシャワー浴が可能です。			
リハビリ					